

## 「トラキチⅡ」

高4回生 高川 静

2022年は寅年で年初に某民放は阪神の今年は、「トラぬ狸の皮算用」と占っていた。果たせるかな、開幕9連敗、最下位からスタートした。ところが、ある阪神OBはそのうち2勝1敗のペースで頑張れば勝率5割のレベルに戻りますよとコメントしていた。シーズンの後半には「貯金」が増えたこともあり、最終的にはきわどかったがAクラスに止まりクライマックス・シリーズでリーグ決勝戦に進出した。なんだか異変が起きる予感がしたのだが、ヤクルトに破れ、ヤクルトはオリックスに破れ、日本一は捕らぬ狸の皮算用に終わった。

2023年9月14日、虎の翼 頂点一気、18年振り6度目のリーグ制覇を果たした。キーワードは「アレ」で優勝を指した「こ・そ・あ・ど」代名詞だった。岡田監督は日本一は(言葉)を決めていない。また良い言葉があったら、教えてほしいと思いますと述べていた。また、「あー」「おーん」人引き付ける効果とあるように、問投詞を談話の前後に入れてコミュニケーションとして効果的で面白いとされた。大阪から阪神タイガースのマグカップを取り寄せた。

JERA CENTRAL LEAGUE CHAMPIONS 2023 A. R. E. Tigersと銘記されている。

A. R. E. は Aim ! Respect ! Empower ! の頭文字の由。

セントラルリーグ最終ステージで岡田監督は「普通にやるよ。」と話していた。最終S第2戦は虎王手劇的サヨナラ8回の継投岡田阪神の強み凝縮だった。最終S第3戦は不動の虎無傷突破「38年ぶり」へ機は熟した。日本シリヘズ59年ぶり関西対決へオリックスCS突破、阪神タイガースと対戦する。1964年の南海対阪神以来の関西対決である。京セラ⇔甲子園は近鉄⇔阪神で繋がっている。トラ日本Sへ始動、岡田監督は古巣オリと対戦、「知らんメンバーやから…」  
「京セラは甲子園以外では慣れている球場やからな。」

日本シリーズ第1戦オリックス0-8阪神	意表突く足攻	トラ初戦完勝	京セラ	
日本シリーズ第2戦オリックス8-0阪神	下位点火	オリやり返した	京セラ	
日本シリーズ第3戦オリックス5-4阪神	オリ1点差虎の足止めた		甲子園	
日本シリーズ第4戦オリックス3-4阪神	湯浅にかけた	虎サヨナラ	甲子園	
日本シリーズ第5戦オリックス2-6阪神	一気6点	逆転のトラ王手	甲子園	
日本シリーズ第6戦オリックス5-1阪神	圧倒	完投	山本の真骨頂	京セラ
日本シリーズ第7戦オリックス1-7阪神	強打	獣王岡田虎制覇		京セラ

阪神日本一38年ぶり2度目 岡田彰布監督は38年前 バース・掛布・岡田のクリーンアップで活躍、二塁手で存在感があった。

今年はコレ、アレ云わず「優勝」と、球団初の二連覇を目指す。